

アジア・サステナビリティ・シンポジウム

サステナビリティ戦略と投資家の期待—アジアにおける ISSB 基準実装に向けて

2026 年 4 月 9 日 13:30-18:30 東京 KABUTO ONE HALL & CONFERENCE

ハイブリッド(会場参加とライブ配信)

趣旨・目的

アジア太平洋地域においても、ISSB 基準に基づくサステナビリティ開示の制度導入が進んでいます。一方で、日本を含む多くの国・地域において、企業による実務への対応や投資家によるサステナビリティ情報の企業価値評価および投資判断への活用は、依然として発展途上にあります。

アジア・サステナビリティ・シンポジウムは、日本証券アナリスト協会(SAAJ)が、IFRS 財団アジア・オセアニアオフィスのご協力を得て開催するものです。本シンポジウムでは、以下の議論を通じて、制度導入後の次なるステージ、すなわち ISSB 基準の実装に向けた課題とその解決の方向性を示すことを目的としています。

- **基調講演**では、ISSB 議長の Emmanuel Faber 氏および金融庁企画市場局長の井上俊剛氏をお迎えし、ISSB 基準の最新動向および日本におけるサステナビリティ情報開示への取組状況について、それぞれご講演いただきます。
- **パネルディスカッション**では、パネル 1 で、アジア太平洋地域においてこの分野をリードする投資家および企業の皆様をお迎えし、サステナビリティ関連財務情報を企業価値評価や投資判断にいかに効果的に活用できるかについて議論します。また、パネル 2 で、サステナビリティ情報の活用が、資本市場の活性化や持続可能性の向上にどのように貢献し得るかについても検討します。

イベント概要

日 時: 2026 年 4 月 9 日(木)13:30-18:30 (日本時間)
会 場: KABUTO ONE HALL & CONFERENCE
東京都中央区日本橋兜町 7-1 KABUTO ONE 4 階
形 式: ハイブリッド(会場参加とライブ配信)
言 語: 英語(日本語同時通訳付き)
登 録: 事前登録制(一般公開・無料)
主 催: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会 (SAAJ)
協 力: IFRS 財団アジア・オセアニアオフィス

対 象

アジア太平洋地域等における投資家・アナリスト、企業関係者、その他のステークホルダー

プログラム

13:30–13:35 開会挨拶

公益社団法人 日本証券アナリスト協会 会長 鳥海 智絵 CMA

13:35–13:55 基調講演 1 (ビデオメッセージ)

Emmanuel Faber 氏 IFRS 財団 国際サステナビリティ基準審議会 (ISSB) 議長

13:55–14:25 基調講演 2

日本におけるサステナビリティ開示の進展とアジアへの示唆
ー 人的資本開示の未来を見据えて
井上 俊剛 氏 金融庁企画市場局長

14:45–15:45 パネルディスカッション 1

ISSB 基準に対応したサステナビリティ開示時代における投資家と企業の対話

パネリスト

- Rashyid Redza Anwarudin 氏 SD Guthrie 社 チーフ・サステナビリティ・オフィサー
- Kenneth Ho 氏 Sevia Group (A Temasek owned Asset Management Group) ヘッド・オブ・サステナビリティ
- 小野 郁 氏 味の素株式会社 執行役サステナビリティ担当
モデレーター
- 井口 譲二 氏 CMA 日本証券アナリスト協会サステナビリティ報告研究会座長

15:55–16:55 パネルディスカッション 2

政策から実践へ: アジアにおける ISSB 基準と投資家の視点

パネリスト

- Anuja Agarwal 氏 Asian Corporate Governance Association (ACGA) リサーチ・ヘッド(日本およびインド担当)
- 近江 静子 氏 CMA JP モルガン・アセット・マネジメント株式会社 株式運用本部 インベストメント・スチュワードシップ部長 エグゼクティブディレクター
- Jeanne Stampe 氏 Norges Bank Investment Management ポリシー・リード(アクティブオーナーシップ)
モデレーター
- 熊谷 五郎 氏 CMA 日本証券アナリスト協会企業会計部長、東京大学金融教育研究センター招聘研究員

16:55–17:00 閉会挨拶

公益社団法人 日本証券アナリスト協会 専務理事 神津 多可思 CMA

17:00–18:30 ネットワーキング

会場 KABUTO ONE 3 階 Book Lounge Kable